

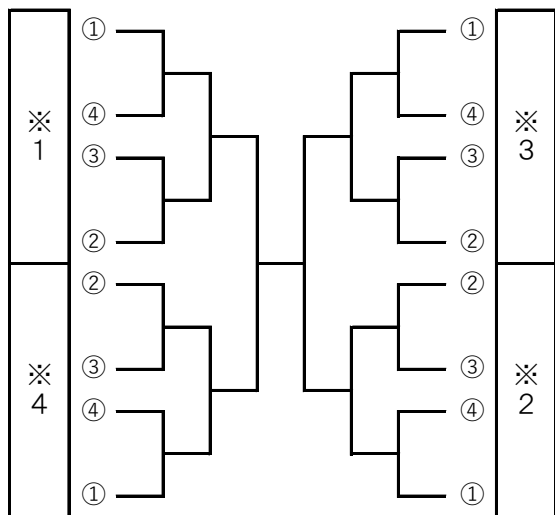
県大会組合せの基本原則

1 学校対抗

(1) シード対象大会

新人県大会 → 総体県大会 → 新人県大会

(2) 組合せ手順

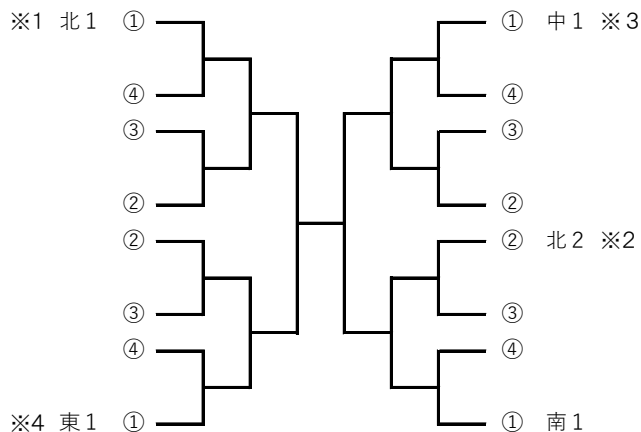


- ① 地区 1 位
- ② 地区 2 位
- ③ 地区 3 位
- ④ 地区 4 位

1. 前大会のベスト4を地区シード (※1～※4) とし、ランキング順に※1～※4のブロックに配置する。(ブロック内の位置は地区順位による)
2. 地区シードを持たない地区の1位校を抽選により配置する。
3. 以降同様に2位, 3位, 4位・・・8位校を地区ランキング順に抽選により配置する。(同地区1位校と2位校が向かい合わせにならない場合もある)

[例1]

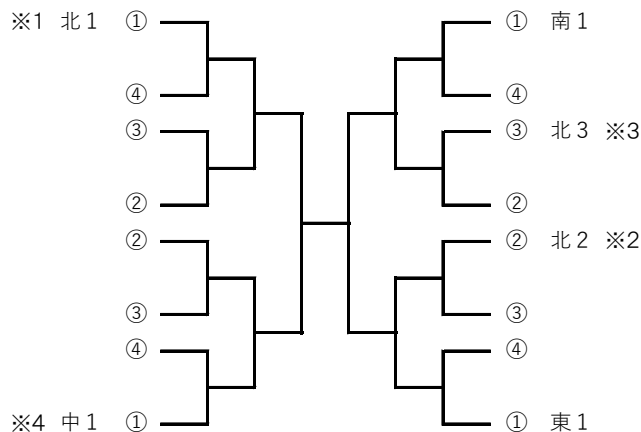
前大会	1位	2位	3位	4位
	北	北	中	東



南1位は自動的に配置
2位校以降は北→中→東→南の順に抽選
(地区ランキング順に抽選)

[例2]

前大会	1位	2位	3位	4位
	北	北	北	中



東1と南1を抽選により配置
2位校以降は北→中→東→南の順に抽選
(地区ランキング順に抽選)

2 ダブルス

(1) シード対象大会

総体県大会 → 総体県大会

(2) 組合せ手順

1. 地区大会優勝ペアを前大会のベスト4入賞地区ランキング順に第1～4シードに配置する。
2. 地区2位ペアは優勝ペアとは反対側のブロックに配置する。なお、前大会でランキング保持地区の場合には自動的にシード順位の低い側に配置される。
3. ランキングを持たない地区については抽選によりシードを決める。
4. 学校バランスを配慮しながら配置する。1回戦での同地区対戦を避ける。

3 シングルス

(1) シード対象大会

中部日本(ジュニアの部)県予選 → 全日本(ジュニアの部)県予選 → 新人県大会 →
県ジュニア卓球選手権 → 国体県予選 → 総体県大会

(2) 組合せ手順

1. 地区予選のポイントおよび前2大会の県大会のポイントの合計得点により順位をつける。
(例：新人県大会の場合 新人地区大会 + 全日本(ジュニアの部)県予選 + 中部日本(ジュニアの部)県予選)
2. 地区予選のポイント
1位：13点 2位：10点 B4：7点 B8：4点 B16：1点
3. 県大会のポイント
1位：24点 2位：20点 B4：16点 B8：12点 B16：8点 B32：4点
4. ポイントをもとに学校バランスを配慮しながら配置する。1回戦での同地区対戦を避ける。
5. シード対象大会に出場していない選手については専門委員会で協議の上ポイントを与える場合がある。